

調査終了にあたって

消防団は、消火活動をするだけでなく、風水害の際の避難誘導や障害物の除去、地震などによる大規模災害への備えのための救助、訓練、また、防火のための巡行や啓発活動などを行っています。

地域のために貢献したいという強い心で動く、究極のボランティア精神を胸に、日々、仕事や学業を継続しながら、訓練を重ねています。

我々は、地域の住民で組織されていますので、急に仕事を離れる必要がある場合など、職場の皆様の御理解、御協力が欠かせません。家族を含め、地域の皆様の御協力あつての消防団活動であると、常日頃から団員には伝えてきておりますし、自分でもそのような気持ちを忘れることなく、今まで長く活動してまいりました。

だからこそ、地域の皆様との信頼関係は最も大切にしなければならないものであり、最も消防団活動に必要なものであると、今般、改めて痛感しております。

地域の生命・財産を守るという使命のもと、己を律し、仲間と一丸となって活動するよう指導してきたつもりですが、手当・報酬に関しては、分団に任せたままにしており、一部で不正受給が行われていたことは、私の指導不足、監督不行き届きも原因であると、私自身も深く反省しております。

市民の皆様、長きに亘って消防団を支えてくださっている皆様、関係者の皆様におかれましては、消防団への信頼を損なう事態を招き、誠に申し訳ございませんでした。

消防団員の不足が全国で課題とされている中、快く入団し、真摯に活動に向き合っている団員が、この小金井にいます。早朝や夜中でも、真冬でも、災害現場に駆け付けて、地域を支えています。そのような得難い志を大切に守り、育てるためにも、今後、二度とこのような事態とならぬよう、襟を正し、健全な運営が保たれる仕組みを整えていかなければなりません。そして、再度、市民の皆様との信頼のもとに消防団が活動できるよう、改めて団員の教育に力を注ぐ所存ですので、御理解と御協力をいただけますよう、よろしく願いいたします。

令和6年2月26日

小金井市消防団長 田村 裕一